
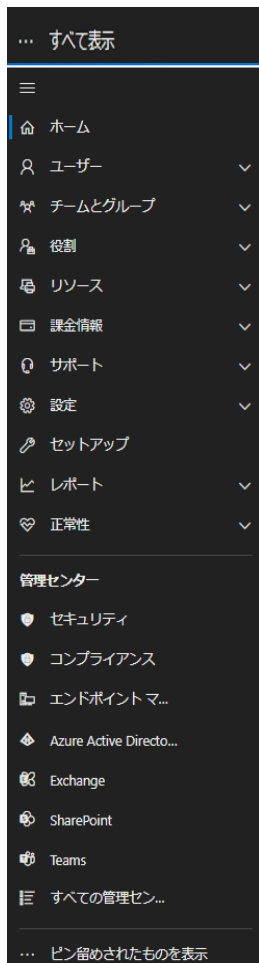


## 【管理センターの機能と設定】

「Microsoft 365 管理センター」は、テナント管理者の一般的な管理タスクを処理するための中心的な場所です。管理センターに遷移するには、左上の罫マークをクリック時にプルダウンで表示されるメニューの「 管理」をクリックする事で遷移します。


管理センターの左側のナビゲーションに表示される機能と設定を以下に列挙します。

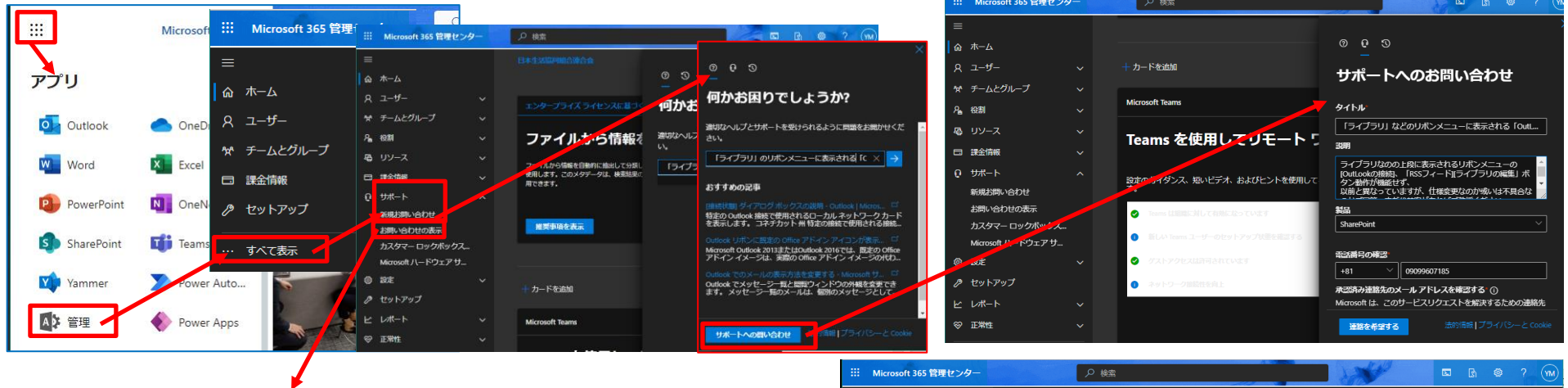


メニュー	目的
ホーム	これは、管理センターのランディング ページです。ユーザー、課金、サービスの正常性、およびレポートを管理する場所が表示されます。
ユーザー	従業員や学生など、組織内のユーザーを作成して管理します。アクセス許可レベルを設定することも、そのパスワードをリセットすることもできます。
チームとグループ	Microsoft 365 グループ、配布グループ、セキュリティグループ、または共有メールボックスなど、組織内のグループを作成して管理します。グループを作成して管理する方法については、こちらを参照してください。
リソース	SharePoint サイト コレクションなどのリソースを作成して管理します。サイト コレクションを作成する方法については、こちらを参照してください。
サポート	<a href="#">既存のサービス リクエストを表示するか、新しく作成します。詳細については、「ビジネス製品についてサポートに問い合わせる - 管理者ヘルプ」を参照してください。</a>
設定	メール、サイト、および Office スイートなどのアプリのグローバル設定を管理します。パスワード ポリシーと有効期限を変更します。contoso.com などのドメイン名を追加して更新します。組織プロフィールとリリース設定を変更します。また、パートナーが管理センターにアクセスできるかどうかを選択します。
セットアップ	既存のドメインの管理、多要素認証の有効化と管理、管理者のアクセス権の管理、Office 365 へのユーザー メールボックスの移行、機能の更新プログラムの管理を行ったり、ユーザーによる Office アプリのインストールを支援したりします。
レポート	組織が Microsoft 365 をどのように使用しているかをひとめで確認し、メールの使用、Office のライセンス認証などの詳細なレポートを表示します。新しいアクティビティレポートの使用方法については、こちらを参照してください。
正常性	<a href="#">正常性がひとめでわかるように表示されます。また、詳細や正常性の履歴を確認することもできます。詳細については、「サービスの状態を確認する方法」および「Windows リリースの状態を確認する方法」を参照してください。</a> <a href="#">機能やサービスの今後の変更を確認するには、メッセージ センターを使用します。そこには、変更の予定とその変更がユーザーにどのような影響を与えるかを理解するための情報を含む、お知らせが投稿されます。詳細については、「Office 365 のメッセージ センター」を参照してください。</a>
管理センター	Exchange、Skype for Business、 <b>SharePoint</b> 、Yammer、 <b>Azure AD</b> の管理センターを個別に開きます。各管理センターには、そのサービスで利用可能なすべての設定が含まれます。 たとえば、Exchange 管理センターでは、メール、予定表、配布グループなどのセットアップと管理を行います。 <b>SharePoint 管理センター</b> では、 <a href="#">サイト コレクション</a> 、 <a href="#">サイト設定</a> 、OneDrive for Business の作成と管理を行います。Skype for Business 管理センターでは、インスタント メッセージ通知、ダイヤルイン会議、オンライン プレゼンスのセットアップを行います。

## (1) テナント - サポート - 新規お問合せ

サービスに関する問題や質問があった場合、問題を解決するためにサポートへの要請を作成できます。

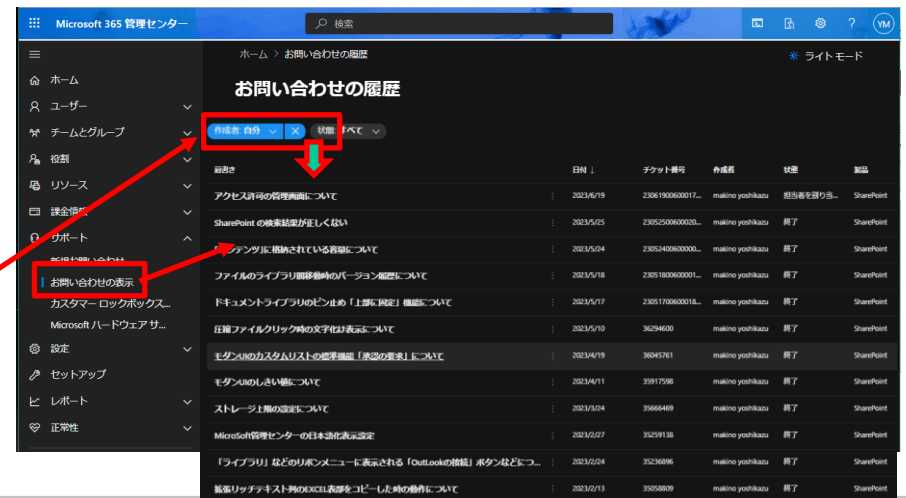
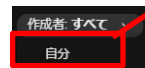
新規お問合せフォームの遷移手順は、画面上段の左上  をクリックで表示されたプルダウンメニュー内の「**管理**」をクリック ⇒ 「**…すべてをクリック**」⇒ 「**サポート**」をクリックで表示された「**新規お問合せ**」をクリックで画面右サイドに「**何かおこまりでしょうか**」のダイアログが表示されるので**タイトル**を入力し、[Enter]を押下。ダイアログの最下位行の「**サポートへの問い合わせ**」ボタンが表示されるのでボタンをクリックすると説明欄が表示されるので、**問合せ内容など必須項目**を入力すると、「**連絡を希望する**」ボタンが表示されるので**クリック**します。



## (2) テナント - サポート - お問合せの表示

新規お問合せをすると、「**お問い合わせの履歴**」一覧に追加表示されます。問い合わせの進捗状況に従って、状態列は「開く」⇒「**担当者を割り当て中**」⇒…と遷移します。

自分の問合せ一覧だけを表示したい場合は、「**フィルター設定**」で「**自分**」を選択してください。



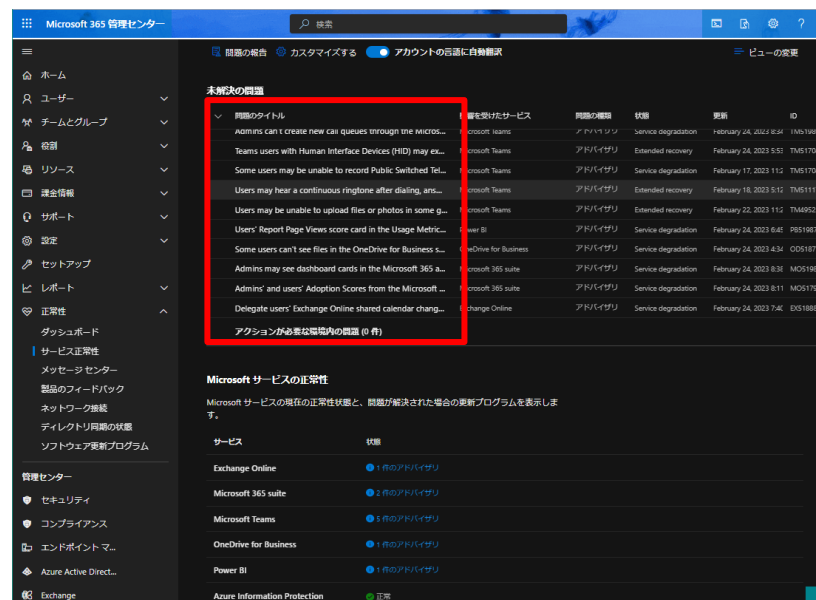
## (3) テナント - レポート - サービスの正常性の確認

Customer Engagement アプリおよび Microsoft 365 サービスの状態をリアルタイムですばやく取得できます。

Microsoft 365 管理センターのサービス正常性のページは、オンラインサービスのサービス正常性の総合的なビューを提供します。

Customer Engagement アプリへのサインインで問題が発生する場合は、このページをチェックしてサービスが停止しているかどうか確認が可能です。フォームの遷移手順は、画面上段の左上皿をクリックで表示されたプルダウンメニュー内の「管理」をクリック ⇒ 「…すべてをクリック」 ⇒ 「正常性」をクリックで表示された「サービス正常性」をクリックでボディー部に一覧が表示されます。

尚、一覧表示部は英語表記になっているので、日本語表記に変更も Azure Active Directory の [preferred Language] の設定にて対応が必要です。※現在、未設定

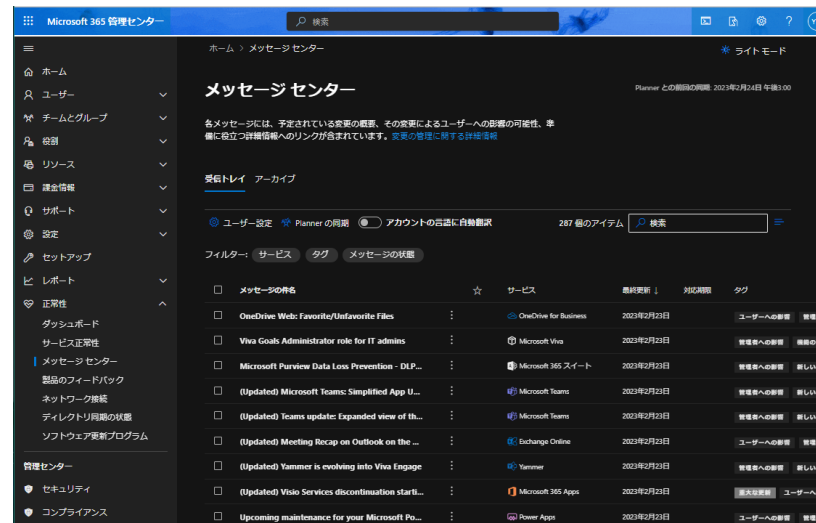


## (4) テナント - レポート - メッセージセンターでメッセージの確認

メッセージセンターをチェックして、問題の修復または防止の方法、サービスの変更の方法、あるいは新規または更新された機能に関する情報の知らせを受ける方法を確認します。

正常性 > メッセージセンターの順にクリックし、メッセージを選択して詳細情報を取得します。

フォームの遷移手順は、画面上段の左上皿をクリックで表示されたプルダウンメニュー内の「管理」をクリック ⇒ 「…すべてをクリック」 ⇒ 「正常性」をクリックで表示された「メッセージセンター」をクリックでボディー部に一覧が表示されます。



## (5) 管理センター – SharePoint – サイト – アクティブなサイト – ストレージ上限

テナントの容量は現在、25TBですが、Teamsサイトのストレージ上限値は、初期値(25TB)になっており、2023/02/28時点で野良Teamsサイトを含めると、2,040サイトで5TBのリソースを使用しています。SharePointサイトはストレージ上限値を設定し管理していることから同一のテナントリソースを使うTeamsサイトもサイトコレクションごとにストレージ上限値を設定・管理が必要と考えます。以下に、手動での設定方法を示します。尚、サイト数が膨大な事から、PowerShellによる一括設定の検討も考慮が必要です。

The screenshot displays the Microsoft 365 Management Center interface. The left-hand navigation pane shows the 'SharePoint' option highlighted with a red box. The main content area shows the 'アクティブなサイト' (Active Sites) section, where a table lists active sites. The site '[公式]ISE' is selected and highlighted with a red box. The 'ストレージ上限' (Storage Limit) column for this site is also highlighted with a red box. A dialog box titled 'ストレージ上限の編集' (Edit Storage Limit) is open, showing the current storage limit for the selected site as '25600 GB', which is highlighted with a red box. Below this, the '通知を許可' (Allow notifications) checkbox is checked, and the notification threshold is set to '98%', which is also highlighted with a red box. The dialog box includes a '保存' (Save) button and a 'キャンセル' (Cancel) button.

## (6) 管理センター – Teams - 英語表記になっているので、日本語表記に変更

今後、メンテナンスを行っていく上で、日本語表記にて操作ミスを未然に防ぐ対応が必要です。ヘッダー部などは英語表記になっているので、日本語表記に変更も Azure Active Directory の [preferred Language] の設定にて対応が可能ですので、設定方法は、Azure Active Directory での言語のカスタマイズ を参照してください。

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/active-directory/external-identities/user-flow-customize-language>

The screenshot displays the Microsoft 365 Admin Center interface. The left-hand navigation pane is in Japanese, with the 'Teams' option highlighted in a red box. The main content area is in English, showing the 'Microsoft Teams admin center' header and a search bar. Below the header, the 'Manage teams' section is visible, featuring a 'Users summary' card with the following data:

Users summary		
4,090	3,191	899
Total users	Internal users	Guests

Below the summary card is a table listing 2052 teams. The table has columns for Name, Standard channels, Private channels, Shared channels, and Team. The following table represents the data shown in the screenshot:

Name	Standard channels	Private channels	Shared channels	Team
総合マネジメント部	2	0	0	5
物流運用G	1	0	0	2
FastTrack連携用	7	0	0	5
[公式]れいんぼーくらぶ事務局	1	0	0	6
[公式]中計・次年度方針検討チーム	1	0	0	20
[公式]事業支援部	2	0	0	17
[公式]にじ+編集委員会	5	0	0	10
[公式]RSグループ/営業企画部	7	0	0	9



## (7) 管理センター – Azure Active Directory – グループ設定 – 有効期限

Teamsで作成されたサイトコレクションを始め、「Microsoft365グループ」で管理・作成されているサイトは、SharePoint Onlineでサイトの作成(払出し)とは異なり、連携された色々なOffice(Outlook、Outlook On The Web、Outlook Mobile、SharePoint、Planner、Teams・・・)、さまざまなツールから作成されてしまいます。

- Outlookでグループを作成する
- Microsoftチームを作成する
- SPOでチームサイトを作成する
- ファミリグループを作成する
- Yammer でグループを作成する
- Plannerでプランを作成する

しかしながら、作成されたサイトは一定期間使われた後、野良サイトとして残存し、テナントのリソースとして残るため、削除などの配慮が必要です。

これは、「Microsoft365グループの有効期限ポリシー」機能にて有効期限を設定する事で対応可能です。

・使われているサイトはグループの有効期限が切れる約 35 日前に自動的に更新される

・使われていない(ユーザー アクティビティがない)野良サイトのグループは削除される

この設定でグループの有効期限が切れてグループが削除されると、削除の 30 日後に、グループのアプリ (Planner、サイト、チームなど) のデータが完全に削除されます。 但し、訴訟ホールドにあるグループ メールボックスは保持され、完全に削除されることはありません。

⇒ `New-AzureADMSGGroupLifecyclePolicy -GroupLifetimeInDays 365 -ManagedGroupTypes All -AlternateNotificationEmails emailaddress@contoso.com`

【Microsoft 365 グループの有効期限ポリシーを構成する】

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/active-directory/enterprise-users/groups-lifecycle>

The screenshot shows the Microsoft Entra Management Center interface. The left sidebar contains navigation options like 'Azure Active Directory', '概要', 'ユーザー', 'グループ', etc. The main content area is titled 'グループ | 有効期限' and shows settings for a group named '日本生活協同組合連合会 - Azure Active Directory'. The '有効期限' (Lifetime) setting is highlighted with a red box, showing 'グループの有効期間 (日)' set to '30'. Below this, there is a table of groups with columns for '名前' (Name), 'ID' (ID), and '電子メール' (Email). One group is listed: 'テストチーム横嶋' with ID 'de3833f8-a10d-490d-8ddf-0817ea3...' and email 'msteams\_6d6166@JCCUnion.onmic...'. This row is also highlighted with a red box.